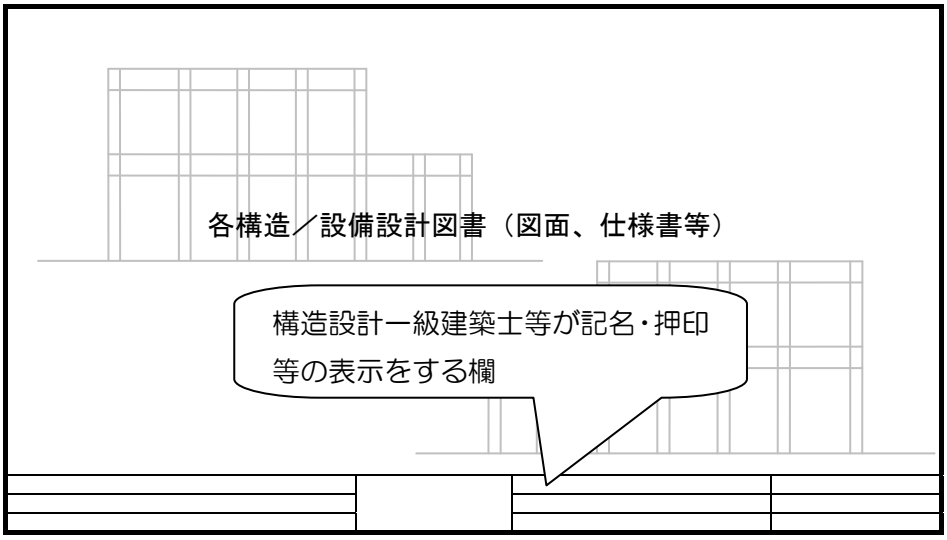
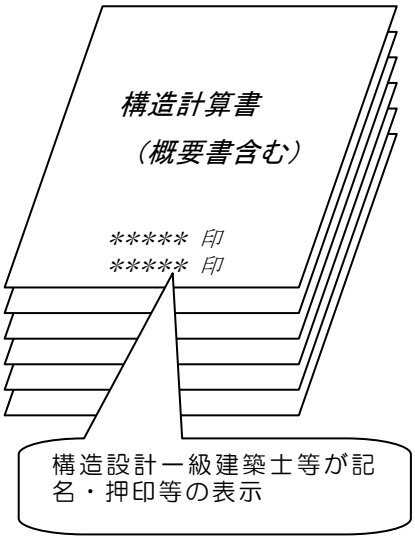
構造設計一級建築士等が図面ごとに「設計図書の作成」又は「法適合確認」を行う場合の表示「記名・押印等」の例





①【設計図書の作成】の場合：構造設計図書等を作成した建築士が１名の場合　（ケース：２－１）

（※　構造設計一級建築士等が自ら構造設計図書等を作成した場合を示す）

	一級建築士　第　１１１２２２　号	明 石　太 郎　印	
	構造設計一級建築士　第　２８７　号		

それぞれの資格で記名・押印の表示をする。

②【設計図書の作成】の場合：構造設計図書等を作成した建築士が複数名の場合

（※　構造設計一級建築士等が自ら構造設計図書等を作成し、それらを分担した場合を示す）

	一級建築士　第　１１１２２２　号	明 石　太 郎　印	
	構造設計一級建築士　第　２８７　号		
	一級建築士　第　１８７８７８　号	金 田　憲 次　印	
	構造設計一級建築士　第　４０９　号		

それぞれの資格で両者の記名・押印を表示する。

③【法適合確認】の場合：構造設計図書等を法適合確認した構造設計一級建築士が１名の場合（ケース：２－２）

（※　構造設計一級建築士でない建築士が作成した構造設計図書等を構造設計一級建築士が 法適合確認をした場合を示す）

	一級建築士　第　１７７７７７　号	二 等　漱 石　印	
	構造設計一級建築士　第　２８７　号	明 石　太 郎　印 【構造関係規定に適合する。】	

図書や法規定の一部分を法適合確認を行う場合において、対象となる規定が明らかであれば「構造関係規定に適合する」と表示する。